

J A 松任青年部 YOUTH SITE



〔JA松任青年部 リーダー研修会〕

〔企画部〕



7月8日(土)、中央支店にてポリシーブック作成に向けたリーダー研修会を開催しました。ポリシーブックとは、JA青年部の盟友一人ひとりが地域活動や営農をしていくうえで抱えている課題や疑問点について、盟友同士で解決策を検討し、とりまとめを行い、「自分たちの行動目標」と「積み上げによる政策提案」の両方を備えたものです。

当日は、各地区より参加者を募り42名の盟友が参加し、石川県青壮年部協議会より孫崎委員長と事務局の稲川氏に講師を依頼し、ポリシーブックについて説明を受けた後、6グループに分かれて「青年部の組織強化」についての意見交換がスタートしました。初めのうちは静かな会場でしたが、時間の経過とともに互いの地区に抱える問題が共通していることや、解決策の提案など各グループにてさまざまな意見がでました。

今後は、今回の研修会に出た意見を吸い上げ、「青年部の組織強化」について取りまとめを行い、問題の解決策について検討したいと思えます。



〔山島夏まつりのシンボル・松明作成!〕

〔山島地区青年部〕

7月2日(日)、9日(日)、山島夏まつりのメインである大松明作成を行いました。



今年には朝から暑すぎるくらい的好天に恵まれ、参加した盟友約40名とOB等30名で各作業部隊に分かれて汗を流しました。初日は、盟友自らが昨年からの松明のもとになる菜種を栽培して6月に刈り取りして乾燥させていたハウスの中に入って、汗だくになりながら菜種を回収し、その菜種を一つ一つ編みこんで、骨組にまきつけました。

2日目は、飾付作業などの仕上げを行い、山島青年部の思いをこめた松明の完成にこぎつけました。更にOBの方々が昼食にやきそばなどを作ってくださり、OBの思いがさらに後押しし、青年部全体が山島夏まつりに向けて気を引き締めました。

この太い松明のように、盟友同士の絆もより太くなった松明づくりでした。そしてこの松明を中心に、山島地区の皆さんの心に残る夏まつりになるように頑張ります!!



〔JA松任青年部部員が収穫のお手伝い〕

グリーンセミナー2017「ミニトマトクラブ」

7月19日(水)、松任トマトクラブ・ポテトクラブの放課後児童クラブの子どもたちを対象にミニトマトの収穫を行いました。

両クラブでは、真っ黒に日焼けした子供たちが集まってくれ、大森委員長、南副委員長、瀧田農業理解促進部長と一緒に、真っ赤な実のついたミニトマトを採り、自分たちで育てた甲斐もあってかどの児童からも笑顔がみえました。収穫されたミニトマトは、クラブの昼食に使われ調理される予定です。

今後は、子どもたちに実ったミニトマトの絵を描いてもらい、10月上旬にJAグリーン松任(まじゅん市場)で展示する予定です。



【各支部手作り看板作成】



7月8日（土）、中央支店にて看板の作成をしました。原案については例年通り絵心のある盟友に案を練ってもらい、事前に下書きをしておき当日は色塗りメインで完成にこぎつけました。中央支部は看板コンクールについて過去に最優秀賞に輝いたこともあり、盟友一同作品には自身があります。

〈中央支部青年部〉

毎年の看板作成は、中央支部盟友の結束力を強めるイベントになっており今年も盛り上げる事が出来たと感じます。作成した看板についてはJA松任農業祭の会場にて展示しますのでお越しになった際には是非ご覧になってください。

〈北星支部青年部〉

7月15日（土）、北星支店にて看板作成を行いました。前日に下地と下書きを行い当日は彩色をしました。各地区から多くの盟友・役員が集まりわきあいあいと楽しく作業が出来ました。



〈西南支部青年部〉

7月9日（日）、笠間町の準低温倉庫にて看板を作成しました。各地区から多くの盟友が集まってくれ、賑やかでいい雰囲気で作



業が出来ました。

今年は新しい作成方法を取り入れ、うまくできるかどうか一喜一憂することを皆で共有できたことはこれからも同じ支部同士係りあっている中でいい経験になったと感じています。普段は4地区合同での活動や交流は少ないですが、このような機会を通して、西南支部としての結束力を強めたり、青年部活動自体が盛り上がっていくことにつながっていききたいです。

〈松南支部青年部〉

6月4日（日）、今年も松南支店米倉庫において恒例の「看板づくり&親睦バーベキュー」を行いました。数少ない地区間交流の大事な企画の1つで、その名の通り地区間でバーベキューをし、親睦を深めながら看板作成を行うものです。山島地区と林中地区はとも仲がよいので今年も大盛り上がりでした。

看板作成は事前準備として一週間ほど前に白色で下地塗りの作業をしておき、後日、林中地区のポン菓子作りの日に合わせ、両地区の盟友が集まり、昨年同様プロジェクターを用いた方法で下書きを行いました。

これは壁に無地の看板を立てかけてプロジェクターで完成図を投影し、下書きを行う方法です。この方法のおかげで下書きはすんなりと終わりました。

今年の看板のデザインですが、これまでと作品の考え方を変え、大きく流行を取り入れました。その効果もあつてか新鮮な気持ちで作業を行いました。出来上がった作品を見ると、これからの青年部活動も時代に合わせた活動が大切なのではないかと感じました。

